

目醒めたのは誰だ?

廃墟となった巨大精神病院。

そこに踏み込んだ瞬間から、

セッション

すでに診療は始まっているー。

usa films presents a scout production: DAVID CARUSO, STEPHEN LEVISON

PAUL GUILFOYLE, JOSH LUCAS, PETER MULLAN, BRENDAN SEXTON III "SESSION 9"

CASTING BY SHEILA JAFFE, C.S.A., GEORGINNE WALKEN, C.S.A.

EXECUTIVE MUSIC PRODUCER: CARON DUFFY

MUSIC BY CLIMAX GOLDEN TWINS COSTUME DESIGNER: AIMEE MCCUE EDITOR: BRAD ANDERSON

PRODUCTION DESIGNER: SOPHIE CARLISIAN DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY: UTA BRIESEWITZ

LINE PRODUCER: MARK DONADIO EXECUTIVE PRODUCER: JOHN SLOSS

PRODUCED BY: DAVID COLLINS, DOROTHY AUFIERO, MICHAEL WILLIAMS

WRITTEN BY: BRAD ANDERSON & STEPHEN LEVISON

DIRECTED BY: BRAD ANDERSON

SESSION 9

セッション9

「ワンダーランド駅で」

ブラッド・アンダーソン監督作品

2001年ヘネチア国際映画祭特別招待作品 2001年エジンバラ映画祭正式出品作品

監督・脚本: ブラッド・アンダーソン「ワンダーランド駅で」/ピーター・ミュラン「マイ・ネーム・イズ・ジョー」

デヴィッド・カルーリ「ブルーフ・オブ・ライフ」

2001年/アメリカ映画/シネスコ/100分/ SRD 配給: アミューズピクチャーズ

© 2001 OCTOBER FILMS, INC. ALL RIGHTS RESERVED.

GOOD MACHINE INTERNATIONAL USA FILMS DIGITAL Little Angie CINER PICTURES INC.

WWW.AMUSE-PICTURES.COM/SESSION9

そこ
廃墟は実在する。戦慄のリアルスリラー!



セッション

そこに足を踏み入れた瞬間から、すでに診療は始まっている。

19世紀に建てられ、今や巨大な廃墟となったダンバース精神病院。かつて2400人を収容した、見る者を威圧するゴシック様式の建物だ。その中には、ロボトミーやショック療法といった非人道的な治療を施された精神病患者たちの暗い記憶が残っていた。85年に閉鎖されたその廃墟へと、改修工事前のアスペスト（有毒物質＝石綿）除去のために5人の男たちがやって来る。彼らに与えられた期間はわずか1週間。それまでに仕事を終えない、一万ドルの報酬がついになってしまふ。防護服を着て、仕事を進めるうちに、彼らの一人が病院内に取り残された多重人格患者のセッションを見つける。聞き進むうちに、次第に明らかになる身の毛もよだつ真実。22年前の、クリスマスイブに患者No.444に何が起ったのか？男たちはアスペストの粉塵のごとく、目に見えぬ恐怖に侵されていく。



この世で最も恐ろしいのは、壊れた人間かもしれない…。

本作は北米一美しく恐ろしい廃墟スポットとして数多くのWEBサイトでも紹介されているダンバース精神病院跡を舞台に、息詰まる密室恐怖と自我崩壊の不安を描き出し全米で絶賛された。まるでコウモリが羽を広げたかのように、各棟が頭、羽、臓物、腕、足のように見える病院の構造、入院患者にまつわる血なまぐさい実話、そしてアスペスト除去作業にかかる男たちの心の闇……これらが一体となって醸し出す恐怖は驚くほどリアルでいて幻覚的である。実験性、ドキュメンタリー性そして幻想性が融合した、まさに実在の廃墟を舞台とした新しい“戦慄のリアルスリラー”なのだ。驚くべき完成度の恐怖映画を作り出したのは、『ワンダーランド駅で』で注目されたシェュエーション・ムービーの名手、ブランドン・アンダーソン監督。コストや悪魔といったオカルトでも、血みどろのスプラッタでもないリアルな恐怖を追及した本作は、全てのセッションが終わっても恐怖はまだ終了せず、観客は自分の内なる暗部に向き合わされることになる……。



素晴らしい脚本のもとに集まった第一線の性格俳優たち

ほとんど密室劇と言える本作で、緊迫感あふれる演技を見せるのは皆脚本を気に入れて集まってきた第一線の性格俳優たち。アスペスト除去業の経営者ゴードン・フレミングには、ケン・ローチ監督の「マイネーム・イズ・ジョー」でカンヌ映画祭最優秀男優賞を受賞したスコットランドの名優、ビーター・ミュラン。ゴードンの補佐役でありながら、上下関係に不満をもつフィルには、「ブルーフ・オブ・ライフ」の演技派、デヴィッド・カルー。そのフィルから恋人を奪ったハンクには、「ビューティフル・マインド」のジョシュ・ルーカス。弁護士への道からドロップアウトしたマイク役は共同脚本家のスティーヴン・シェウドン。ゴードンの甥ジェフにはティーン・アイドルから脱皮を図る「ブラック・ホーク・ダウン」のフレンダン・セクストン・サード。

8.26 ~ 9.1

北米一恐ろしい廃墟。
巨大な精神病院跡で、
今封印されていた
狂気が覚醒しはじめる…。

目に見えない恐怖の毒は
あなたの心を静かに、ゆっくりと、侵していく。



実在の廃墟、ダンバース精神病院の真実

廃墟となったダンバース精神病院は魔女狩りで有名なマサチューセッツ州、セーラムの近郊に実在する。1878年に設立された当時最先端の技術と設備を持った屈指の精神病院だった。病棟の通気性、日当たりを考慮された建物は医局を中心にして、両サイドに建物が広がる。両翼の建物は一方が男性用、もう一方が女性用になっており、4つの病棟（A.B.C.D.）から成る。

暴力性の強い、危険な患者は医局から最も遠いA病棟に収容された。1500人程のキャパシティのところ、20世紀の始めには約7000人程の患者が収容されていたという。患者は廊下のベッド、汚れたトンネルの中にまで寝ていた。病院内の300ほどの墓石には、番号しか刻まれていない。彼らはその名前と存在を永遠に抹殺された。1984年に閉鎖。

患者No.444のカルテメモ

- ・痴病な患者、別人格が現れるごとを拒否
- ・幼い少女
- ・患者は別人格の存在にも、自分が家族や友人から完全に引き離された悲劇についても気づいていないようだ。

www.amuse-pictures.com/session9

監督：脚本：ブランドン・アンダーソン 駅で／キャスト：デヴィッド・カルー／ビーター・ミュラン 2001年／アメリカ映画／100分／SRD 配給：アミューズピクチャーズ

セッション9
SESSION 9
第七回劇場

〒532-0024 大阪市淀川区十三本町1-7-27 サンボーデザイン
Tel.06-6302-2073